

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

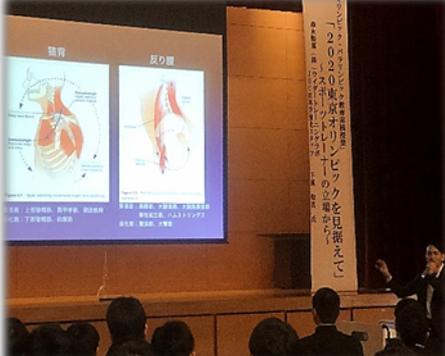
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	福岡県立北九州高等学校 1年生 40名（体育コース1年5組） 2年生 40名（体育コース2年5組） 3年生 40名（体育コース3年5組） 計 120名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体 育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	日本のトップアスリートに携わるアスレティックトレーナーを本校にお招きし、オリンピック・パラリンピックに帯同し、選手に関わってきた記録や、東京大会での関わり方、現場で働くアスレティックトレーナーの仕事内容や、報酬の事象など、キャリア教育の視点も含めた知識・理解を深めることで、スポーツの意義や価値について、関心を高める。
5 取組内容	森永製菓(株)ウイダートレーニングラボのパフォーマンススペシャリストで日本オリンピック委員会医科学強化スタッフの下園聖真氏をお招きし、全学年体育コース3学級120名に「2020東京オリンピックを見据えて」というテーマでご講演頂いた。2部構成でお話しいただき、前半では、どうすればトレーナーになれるか、トレーナー職に就く際に必要とされる資格、スポーツ現場でのトレーナーの立ち位置、給与体系、就労時間、勤務場所等もご本人の経験も交えてお話しいただいた。選手を支えるトレーナーとして、1年の1/3を海外の遠征に帯同し、就労時間もバラバラだけれども、国際大会の表彰式で日の丸が掲げられるのを見るのがこの仕事の1番の「やりがい」と話された。 後半では、氏が現在帯同しているフェンシング競技のナショナルチームについて、姿勢のチェックやウォーミングアップの重要性、ウイダートレーニングラボ、国立スポーツ科学センターでのトレーニングの様子を動画とスライドで説明いただいた。フェンシングの「フルール」「エペ」「サーブル」の3種目やルールの説明を試合の動画等を

使って分かり易く説明いただき、日本フェンシング協会と森永製菓が提携して、トレーナーが選手をサポートできている現状、トレーナーとしてサポートしていく手順として、姿勢のチェックを非常に重要視していること。ウォーミングアップの充実度が試合のパフォーマンスに大きく関係していること。国立スポーツ科学センターとウイダートレーニングラボで選手がどんなトレーニングをしているのか、大変細かくご説明いただいた。姿勢のチェックの説明時には、立位と座位の姿勢のチェックの方法と、それが運動にどう影響するのかを実際に生徒同士でチェックしてみて、評価する体験も行った。

講演後は本校の部活動を見学され、野球部や陸上部の顧問や生徒からのトレーニングやトレーナー職に関する質問に答えられた。



	<p>が、実際に現場で活動されているトレーナーの情報や志は、体育コース生徒の進路選択に大きな影響を与えた。</p> <p>150字程度の感想を全生徒に書いてもらった。講師の仕事に対しての「やりがい」を語る姿が生徒の目にも焼き付いた様で、感想にも「やりがい」について、「トレーナー」について書いてあるものがほとんどだった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>地元、北九州の大学を卒業して、日本の第一線で活躍するスポーツ関連職業の方をお招きした。</p> <p>選手以外のオリンピックを経験した職業の方の話を高校生に伝えることができた。</p> <p>体育コースの生徒の進路選択にも影響を与えることができた。</p>
8主な課題等	<p>今回トレーナーの方のみお招きしたが、選手や監督からからの一言があるとトレーナーの役割の重要さに説得力が増すと感じた。</p> <p>選手、監督、トレーナー等サポートスタッフすべてを巻き込んだ、シンポジウム形式で行うと、学習効果が高いと感じた。</p> <p>部活動での交流は、今回講演を聞けなかった生徒も、トレーナーと関わる機会になるため、質問等考えさせておけば良いと感じた。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>今回、オリンピック経験トレーナーと言うことで、フェンシング帯同トレーナーをお招きしたが、本校部活動に即した種目のトレーナーに来ていただくと、体育コース以外の生徒を対象に講演していただくと感じた。</p>